

天溪 2014年「ミルフォードトラックとマウントクック 11日間」

第1部

「ミルフォードトラックとマウントクック 11日間」を2月18日～2月28日に行いました。

南半球のニュージーランドは日本と冬・夏が逆転し2月は夏の真盛り。参加された皆様はさぞ待ち望んだ事と思います。と言うのは出発直前の2月8日、14日と2週続けて襲った平成26年大豪雪(仮名)。特に14日午後から関東甲信地方で始まったすさまじい降雪は一夜にして松本75cm、前橋73cm、熊谷62cm、甲府114cmなど、この120年間で1、2位の歴史的な積雪に。気象庁による異常気象の定義は「過去30年の気候に対して著しい偏りを示した天候」だそうですから、何と定義4倍の異常気象。長野、群馬、埼玉からご参加の皆様、成田集合お疲れ様でした。筆者は低気圧の移動に不安を覚え13日夜、松本発20時の最終 あずさで上京。翌14日午後から中央本線、中央自動車道など交通機関は全面ストップ、回復したのは3日後の17日夜。危ない所で車中泊を免れました。



(ミルフォードトラック 2/23日)

○ミルフォードトラックへ

飛行機を乗り継ぎトラックハイキングの起点の町、クイーンズタウンへ。ところが何時もと違いフェーン現象を思わせる妙な暖かさ?? オルティメイト社のオフィスでハイキングのレクチャーを受け出発準備完了。ところが階下のスポーツショップのお兄さん曰く “三日後に標高1200m以上は雪が降る”

翌日は晴れ、やはり妙に暖かい風の中、総勢49名(殆ど満員)は1台のバスに乗りティアナウダウンズへ。トラック初日は徒歩1.6km、まさに散歩程度で最初のロッジ、グレードハウスへ到着。夜は国別に分かれ自己紹介、最初尻込みしていた皆様もやればできるものです、英語で!!



(ティアナウダウンズ 2/20日)



○ハイキング 2、3 日目

怪しいと感じた天候は思った通り、悪い方向へ。それから 3 日間、年間降水量 6000mm以上と言われる多雨地帯の洗礼を受けることに。しかし、雨が降っても楽しめるのがこのトラックの良さ。連山から溢れ出る無数の滝、圧巻は世界第 5 位の落差(580m)を誇るサザーランド滝。物凄い水量の落下音はジェット機のごとく、水しぶきは滝の正視を許さず……。マッキノン峠を少し下りたところにマウントクックリリーの花一輪発見。1 月でこの境界の花は終わるのですが??



(Mtクックリリー2/22 日)



○ハイキング最終日

今日は 4 日目、ハイキング最終日。下の写真はサザーランド滝ですが白い山肌は雪の仕業。ショップのお兄さんの天気予報は大当たり。今日峠越えをする人達(1 日後発組)は雪景色のマッキノンパス越えのはず、夏なのに!! ミルフォードサウンドに近づくにつれ天候回復も、一寸遅すぎ! 夜は骨付きラム肉のディナー(鮭のチョイス有)をいただき、場所を移して楽しい完歩賞の授与式が有りました。



(サザーランド滝 2/23 日)



○ハイキング・チャート



次回はツアー後半、Mtクック周辺ハイキングの様子をお伝えします。